良き仲間、良き家族に恵まれて

　　　　　　　　　　　　　　　甘木中央病院訪問看護ステーション　久保山　幸会

私は訪問看護に携わって３年目の、まだまだ未熟な新米訪問看護師です。

これまで急性期病棟での経験しかなく、在宅は未知の世界でした。そんな私にある日突然、訪問看護の話があり、管理者を命じられたのです。その場での返事を求められ、家族に相談もできず、途轍もない不安と恐怖が襲いかかってきました。訪問看護だけでなく、在宅の右も左も分からない私が管理者？しばらく悩みました。私が決断したことに家族は暖かい言葉をかけてくれ、ホッとしたのを思い出します。

やるしかない、ただただ自分に言い聞かせ初日を迎えましたが、スタッフはみんな優しく私を出迎えてくれました。年下で訪問看護経験ゼロの管理者に不安があったと思います。しかし、嫌な顔一つせず、私が悩んだ時は親身になって一緒に考えてくれます。分からない事は先輩として丁寧にアドバイスしてくれます。嬉しい事があると一緒に喜んでくれます。家族もまた、私の帰りが遅くとも文句一つ言わず、協力してくれています。

安心して自分のペースで一歩一歩成長できるのも、訪問看護という仕事にやりがいを感じ、充実した日々を送れているのも、全ては良き仲間、良き家族のおかげだと、心の中ではいつもいつも感謝の気持ちでいっぱいです。

不安から始まった訪問看護でしたが、今では心の底から訪問看護に携わることができてよかったと言える私です。親から頂いた私の名前そのもの、「幸」せに巡り「会」えたと感じています。